

学校における感染防止対策の徹底

◎：変更・追加項目

緊急事態措置区域の指定は解除されたものの、依然として安心できる状況ではないことから、これまでの感染拡大による甚大な影響を決して忘れず、**「学びを止めない」という意識のもと、授業や部活動、学校行事等の学校運営の各場面における感染防止対策を徹底したうえで、学校教育活動を継続**

◆ 徹底した感染防止対策・点検

- 各学校の「ぎふコロナガード（管理職）」が、家庭と連携して実施状況を確認し、感染防止対策を徹底
 - ・ 校内ではマスクの着用を徹底
 - ・ 「健康チェックカード」による毎日の健康状態の確認、手洗い（手指消毒）、教室等の換気、身体的距離の確保のほか、喫食時における会話回避などの対策を徹底
 - ・ 春休み等の期間であることから、家庭としっかり連携し、家族ぐるみで健康状態の確認・感染防止対策を徹底（少しでも症状等があれば速やかに学校へ連絡）
- ◎ 飛沫の飛散、水しぶき等による感染リスク防止の徹底
 - ・ 歯磨きを行う際は、個別に行い、洗い場での密集を回避
 - ・ トイレ掃除の際は、手袋を着用し、教職員の指導のもとで実施
 - ・ 特に水しぶきが飛散する場合は、適切な防護服の着用、掃除後の手洗い等を徹底
- ICTの活用等により、学校教育活動を継続
 - ・ 必要に応じオンラインでの授業配信を活用するなど、状況に応じた学習支援を継続
 - ・ 公共交通機関の利用状況を踏まえた、学校全体で実施する時差登校の継続を検討

◆ 授業等における対策

- ◎ 感染リスクの高い活動の実施にあたっては、リスクの低い他の活動と組み合わせ、当該活動を短時間とするなど工夫（状況に応じ、休止を含め制限を検討）

【感染リスクの高い活動】

- ・ 【各教科等共通】：児童生徒が「長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」「近距離で一斉に大きな声で話す活動」、「身体的接触のある活動」等
- ・ 【音楽】：「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及び管楽器演奏」
- ・ 【家庭等】：「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」
- ・ 【体育等】：「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」（例）柔道の乱取り、バスケットボールやサッカーにおける防御等1対1の活動等
- ・ 【理科】：「児童生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
- ・ 【美術等】：「児童生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」

【体育の授業における配慮事項】

- ・ 可能な限り屋外で実施
- ・ 集団での活動は避け、可能な限り個人で行う活動とする
- ・ 運動を行っていない時（着替えや移動時、教員の説明、グループでの話し合い、用具準備や片付け等）のほか、呼吸が激しくならない軽度な運動ではマスクを着用

◆ 部活動における対策

- ◎ 部活動においても、感染リスクの高い活動の実施にあたっては、他の練習メニューを組み合わせるなど工夫し、当該活動を短時間とするなどの措置を講じる（状況に応じ、休止を含めて制限することを検討）
- 活動開始前の健康状態の確認、飲食・部室利用時の感染防止対策を徹底
 - ・ 「健康チェックカード」の該当項目が1つでもあれば参加しないことを徹底
 - ・ ミーティングや軽度な運動時のほか、休憩時の飲食以外はマスクを着用
- ◎ 活動時間・内容、対外試合等
 - ・ 活動時間については、感染防止対策に万全を尽くしたうえで、通常どおりの活動時間とする。（岐阜県高等学校部活動ガイドラインに準拠）
 - 【岐阜県高等学校部活動ガイドライン】
 - ・ 週当たり2日以上（平日1日、土日1日以上）の休養日
 - ・ 平日2時間程度、休日3時間程度の活動時間
 - ・ 対外試合等は日帰りを基本として実施（「緊急事態措置を実施すべき区域」指定地域を除き、訪問先の感染状況・感染防止対策を十分に確認して実施）
 - ・ 移動時の感染防止対策を徹底し、大会主催者等が定める感染防止対策を遵守
 - ・ 部活動への影響を回避するため、日常生活から家族ぐるみで感染防止対策を徹底

◆ 寮・寄宿舎生活における対策

- 寮や寄宿舎を設置する学校において、チェックリストを活用し、共同生活における感染防止対策を徹底
 - ・ 居室は一人一室を原則とし、居室利用者以外は入室を禁止
 - ・ 共用スペース（食堂・浴室等）は分散利用を徹底し、共用機器は定期的に消毒
 - ・ 帰省先からウイルスを持ち込ませない、帰省先等での感染防止対策の徹底

◆ 年度末から年度始めの学校行事等における対策

- ◎ 卒業式・入学式は、参加者の身体的距離が確保できる配席とし、短時間で実施
 - ・ 配席距離確保のため、在校生や保護者等の参加制限などの対策を講じる
 - ・ 式典会場は、可能な限り常時換気し、密集回避のための受付の複数設置や時間差による入退場の工夫、多数の人が触れる部分の消毒等を徹底
 - ・ 歌唱等を実施する場合、対面回避、マスク着用、前後方向に2m以上の距離を確保
- ◎ 終業式・離任式・始業式は、ICTや放送機器を活用した分散実施を基本
- ◎ 高校入試、合格発表・合格者説明会は、密集を回避し、常時マスクを着用するなどの基本的な感染防止対策を徹底
 - ・ 検査場配置の工夫、検査場内の配席距離の確保等により、密集を回避
 - ・ 合格発表の掲示場所の分散、合格者説明会の時間短縮等により、感染リスクを回避
- ◎ 卒業生には、長期休業中の部活動への参加や卒業旅行等を自粛するよう周知